

## BASE CAMP ED CUP 中止のご連絡

「BASE CAMP ED CUP」に、ご参加頂いた事のある皆様へご連絡です。

本年(2012年)度の「BASE CAMP ED CUP」の、開催が中止となりました。

毎年4月／10月開催を楽しみにして(ご自分の活動スケジュールに予定して)頂いていた皆様には、大変申し訳なく存じます。

合わせてご連絡が遅くなりまして、申し訳ございません。

諸事情により本年度の開催を中止とし、以降の開催に関しましても、現時点に於きましては予定出来ておりません。

当社に於きましても、15年以上の歴史のある(大袈裟ですが)イベント／レースでしたので、今回の決定は苦渋の決断であります。

振り返ってみれば「BC ED CUP」とは、当社ユーザーと私共との雑談[レースに参加するだけじゃなく、自分達でも身内レースをやろう]から生まれた身内(30数名)によるレースでありました。

当初は土曜日の年1回開催でスタッフも従業員のみという状況で有りましたが、開催が年2回となりコースを転々(意図的に)として行くにつれ、徐々に参加人数が増えてきました。

この時点に於いて、楽しみと安全の確保という観点からスタッフの人数が必要不可欠となり、同時に当社以外のユーザーの方々にも遊びを提供しようという思いが募り、所謂古株のユーザーにスタッフとなつて頂く事で、「BC ED CUP」を一般公募するに至りました。

一般公募した当初は、参加人数も少なく赤字続きの連続でありました。

その後、会場を「富士ヶ嶺OFF ROAD」さんに変更／定着すると共に、当社の開催コンセプトを明確に打ち出しつつ、皆様からのご意見やご要望を多々頂く事で、内容を細かく修正しながら開催を重ね、どうにか皆様に愛でられる「BC ED CUP」となる事が出来ました。

途中幾度も弱気になったり断念したくなったりしましたが、都度支えて下さるスタッフ(当社ユーザーや協賛業者)による励ましの言葉に勇気づけられ、また参加して下さった方々の笑顔や一言に喜びを見出しながら、或いは2輪業界の活動の一端を担えればという使命感により、

今日まで何とか継続して開催する事が出来ました。

実のところ、単純に“人”としての感動や感謝の気持ちが、一番の原動力であったと思います。

が故に、当社としましても私個人としましても残念で仕方ありませんが、それ以上に皆様に対して申し訳ないという思いでいっぱいです。

以下に中止に至った概要を記しますので、経緯をお知りになりたい方は引続きご一読下されれば幸いです。

「BASE CAMP ED CUP」開催中止に至る起因として、大きく2つの理由が挙げられます。  
根本としては同じ理由であるのですが、当社側の問題と会場側の問題があります。

会場側の問題としましては・・・

単純に言いますと、コースが荒れてレース後の整備がままならないという事であります。

これだけだと、「富士ヶ嶺OFF ROAD」さんの？とも思われるかもしれませんが、そういう訳ではありません。

「富士ヶ嶺のおやじさん」の事をご存じの方もおられると思いますが、最近体調を崩しておられるのと、当たり前ですが年々歳をとられているという事です。

本来「富士ヶ嶺」は2輪ではなく4輪のコースでもありますし、元々コースが荒れる事を危惧されておられました(過去にもこの問題で中止せざるを得なかったレースも)。

そこを無理言って、初心者／中級者対象のレースという事で貸して頂いていた訳です。

ではありますが、ここ数年の参加者のレベル向上に伴いコースの荒れ方も著しく、また昨年などは天候不順(台風)などにより、コース上の土砂が流されるなどして・・・

等などの理由を持って、「富士ヶ嶺」さんよりコース貸切り＝BC ED CUP開催を遠慮してくれるよう申し出を受けてしまった次第であります。

プチBC ED CUPレベルであれば、検討の余地ありとの意味合いにも受け取れる状況ではありますが、当社にてエントリーユーザーを選定／厳選＝初心者オンリーとのご要望である為、本来のBC ED CUPを維持して開催する事は困難というか、明確に言いますと不可能であります。

当社＝開催者ベースキャンプ側の問題としましては・・・

会場側の中止理由に同じくする部分ではありますが、もう少し複雑な事情が絡み合っております。

簡単に申しますと、「BASE CAMP ED CUP」のコンセプトが維持出来なくなったという事です。

参加者の皆様が、どのようにご理解して頂いていたか定かではありませんが、概ね当社と同じ思いを持って参加して頂いていたものと存じます。

「BC ED CUP」とは、先に述べたとおり、初心者及び中級者の方々に安全で楽しいエンデューロレースを味わって頂こうというものです。

ガチンコレースという訳ではなく運動会的な要素を持ち、初心者の入門用レースとして、或いは中級者(上級者)の方に於かれましても充分な配慮を持って走って／遊んで頂くというものです。

章典を重視する事無く、充実した1日を過ごして頂く為に、様々な工夫と表現を施してきた所存ではありますが、独り歩きし始めた「BC ED CUP」のバリューにより、喜ばしくも制御しきれない様々なユーザー様からのエントリーを頂き、結果として我々(主催者及びスタッフ並びにリピーターの方々)の思惑から少しづつ距離を置いたレースとなってしまったように思われます。

速いが悪い訳ではありません。気持、姿勢の統一感が保ちきれなくなったという事であります。

加えて言うならば、年々平均ペース(レベル)は上がっておりましたし、かといって初参加の初心者の

方の(当たり前ですが)レベルは変わりません。

よって、開きが大きくなってきたという事で有ります。

その点も踏まえ、「プチBC ED CUP」を開催するなどして配慮したつもりでしたが、逆効果であったのか？更に加速度を増して“遊び”ではなく“真面”な方のエントリーが増えてしまったような・・・

言い出したら限が有りませんが、このような状況に同じ思いを抱いていた方も少なからずおられるのではないのでしょうか。

このような問題は当日のレースばかりではなく、募集段階に於きましても見受けられました。

総合参加台数100台限定のレース(雰囲気維持と、安全管理上の問題に、駐車スペースに起因)である為に、エントリー枠が貴重となり・・・皆様周知の状況となりました。

更に申しますならば、スタッフの確保も困難な状況になりつつありました。

基本的に「BC ED CUP」のスタッフは、当社ベースキャンプのユーザー様に“お手伝い”という形でお願いしております。プラス協賛の店舗やメーカー様達の協力により、運営されております。

しかしながら、昨今の社会情勢や突発的な問題により、スタッフの人数を揃える事が難しくなりつつありました。

協力して下さっていたスタッフ諸々の方は、何一つ口にする事無く時間を割いて下さっておりましたが、その時間をいかにして作っていたか、その苦労は察して余りある物が有ります。

このような事を直接言葉にしますと、[何言ってんの、こっちも楽しんでいるんだから]と返す皆に甘えておりましたが、それも徐々に難しい状況になってきたように感じます。

ならば雇えばというご意見もお有りでしょうが、それでは「BC ED CUP」らしさは表現出来ないと思っております。

スタッフに対して、ご意見のある方もおられるでしょうが、当社としましては掛替えのない存在である事は言うまでもありません。

「BC ED CUP」が、競い合う事を趣旨とするレースであれば、様々な問題は“問題にすらならない”と思います。

ですが、大きな問題となってしまうからこそ「BC ED CUP」なのだと思っております。

「BC ED CUP」は、当社と当社ユーザーにより発足し、当社に於いて創意工夫を凝らし、趣旨を明確にし、現地スタッフがそれを皆様に伝え表現し、皆様が色を付け磨き上げて下さった大切なレース／イベントだと自負しております。

また衰退していく二輪業界にありましても、“遊び心”を提唱すべく責任と義務感を強く意識してまいりました。

であるからこそ、いい加減な状態で存続される事は、許されるべきではないと勝手ながらではあります判断させて頂きました。

たかがレースに大袈裟な、と思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、当社に於きましては其れほどの心構えを持って取り組んできたつもりでおります。

(多々至らなかった事例は、申し訳なく思い反省しております。)

ここまで一読して下さった方々には、長文で言い訳がましく申し訳なく存じますが、まだまだ後2~3Pは思いを伝えたい／伝えきれない思いが溢れてまいります。

今後、開催場所(コース)や内容を変え、再び皆様とご一緒出来る時が来るかどうか現時点では何とも申し上げられない状況ではありますが、皆様の溢れんばかりの笑顔とお言葉に間近に接する事が出来ました事を、嬉しく思い、感謝し、ある意味誇りに感じております。

多少容を変えてではありますが、当社ベースキャンプは今年も様々な活動をして行く所存でおりますので、何らかのご興味を抱いて下さるのであれば、是非今後ともご一緒させて頂ければ幸いに存じます。

当社主催の走行会や、参加型のイベント／レースなどでも、遠慮無くご一報頂ければと思います。

末筆ではありますが、皆様のモーターライフが末永く、安全で、楽しく、充実した、遊び心に溢れた、時と場であります様、心より願っております。

今日まで、お付き合い頂き有難うございました。

二輪業界の末席に身を置くものとして、当社ベースキャンプとして、個人として、皆様と一時を共有できた事を嬉しく思うと共に、感謝申し上げます。

平成24年2月4日

BASE CAMP ED CUP主催者

Motor Life Shop ベースキャンプ

代表 加藤 淳(バンダナがトレードマークのBOSS)より